

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」を示します。

してはいけない「禁止」を示します。

気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

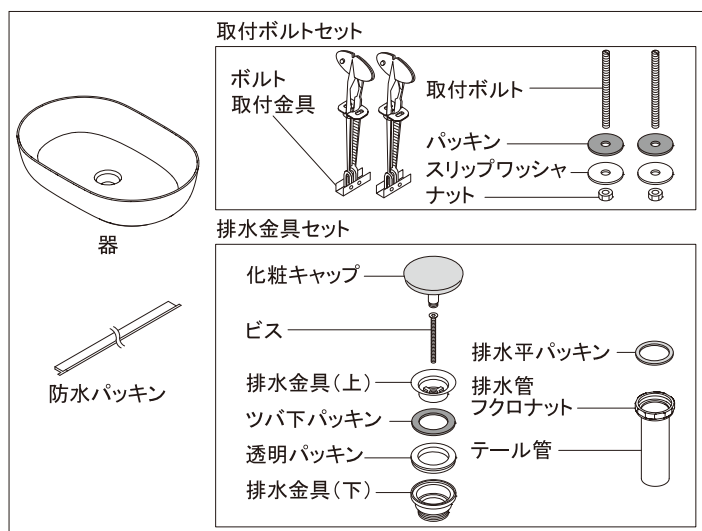
注意	
必ず実行	●器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。 ●指定位置には必ずシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生(の恐れ)があります。 ●排水金具のビスは、器の破損を防止するため、パッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
注意	●施工前に、輸送中の破損がないかご確認ください。 ●施工される際は、器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。 ●施工後の確認を必ず行ってください。 ●施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器の表面にキズや汚れがつかないよう、養生シート等で保護してください。

使用上のご注意

注意	
禁止	●器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生(の恐れ)があります。 ●器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。 ●器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
注意	●汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。 ●お手入れの際は、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。 ●金属類(ヘアピン、カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。 ●スチームクリーナーは、器が破損する原因となりますので、使用しないでください。

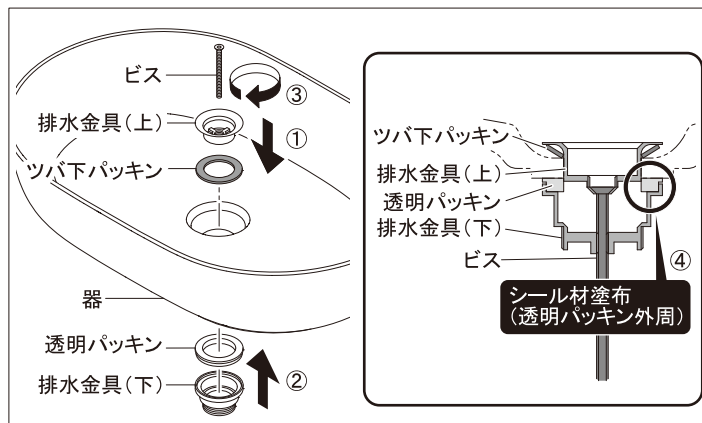
製品同梱明細

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



施工方法

1. 排水金具を取付けます。

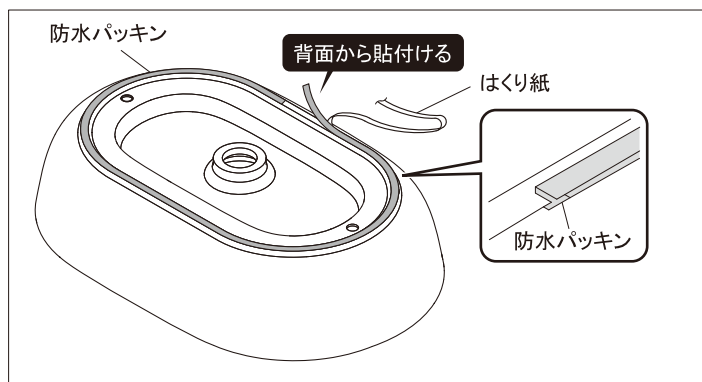


- ① ツバ下パッキンがついていることを確認し、排水金具(上)を器の穴に挿入します。
- ② 排水金具(下)の溝に透明パッキンをはめてから、器の裏面から穴に合わせます。
- ③ 上側からビスを「六角レンチ(対辺4ミリ)」でねじ込みしっかりと締付けます。
- ④ 透明パッキンの外周にシール材を塗布します。

必ず実行

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- ビスは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

2. 防水パッキンを取付けます。

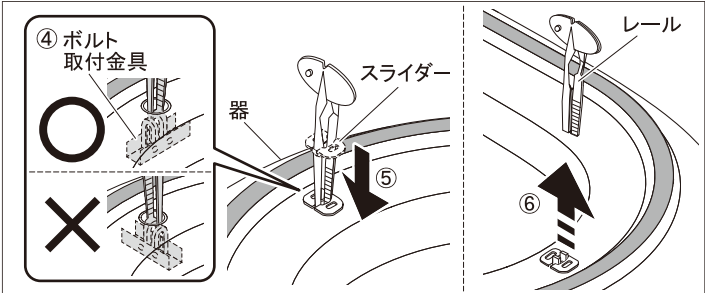
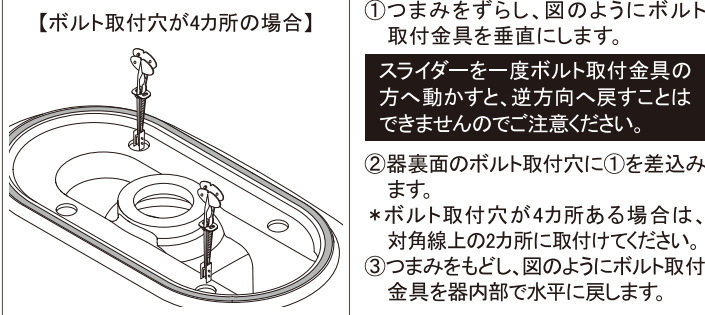
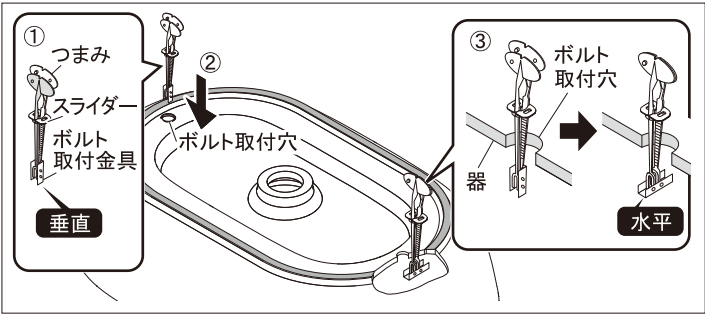


器裏面のカウンターと接する部分に、はくり紙を剥がしながら図のように防水パッキンを貼付けます。

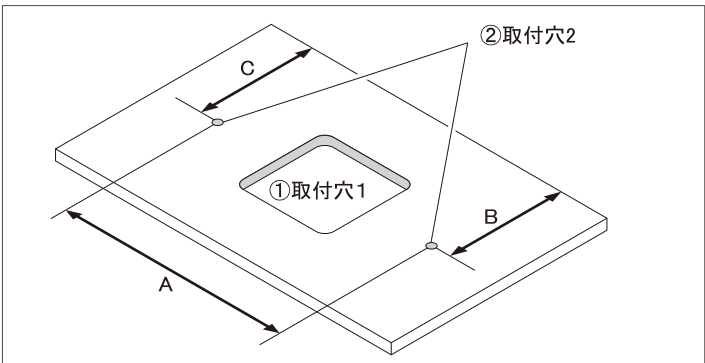
*防水パッキンは器の背面(壁側になるほう)から貼付けてください。

施工方法(つづき)

3. ボルト取付金具を取付けます。

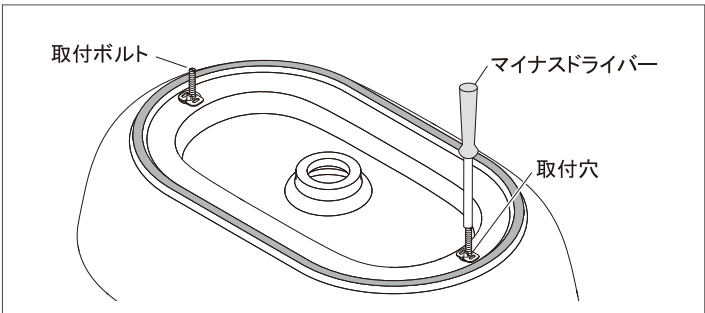


4. 器を取付けます。



①器を取付けるカウンターに取付穴1を開けます。
* 取付穴1は、仕様図面をご参照ください。

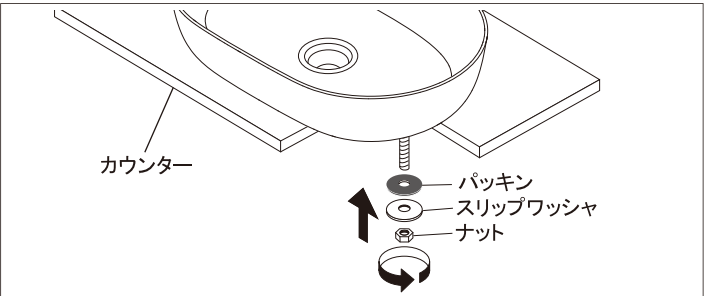
②A・B・C寸法を現品から測定し取付穴2を開けます。



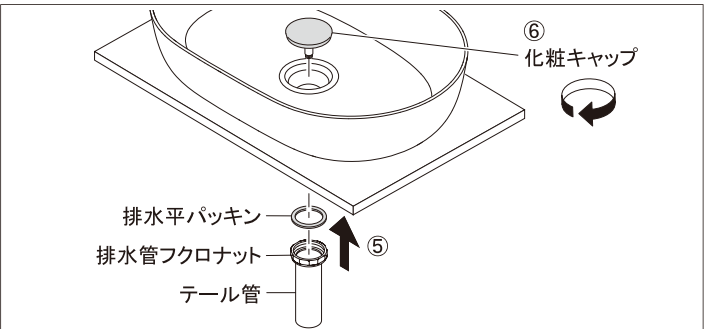
③同梱の取付ボルトを器裏面の取付穴に取付けます。

施工方法(つづき)

4. 器を取付けます。(つづき)



④取付ボルトを②で開けた取付穴2に通しながら、カウンターに器を設置し、カウンターの裏側からパッキン・スリップワッシャの順に通し、ナットで締付けて固定します。



⑤排水管フクロナット内に排水水平パッキンが入っていることを確認し、排水金具(下)にテール管を取付けます。

⑥化粧キャップを取付けます。

5. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態等でその場を離れないでください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

施工後の確認

* 施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認を行ってください。

- ①器の取付状態の確認
ガタつきがないか確認をします。
- ②水栓の吐水量の確認、および調整
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。

メンテナンス等で、止水栓を閉じ、再び開く場合等には、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)